

## 教科目名 日本史 (History of Japan)

学科名・学年 : 制御情報工学科 1 年 都市システム工学科 1 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 学習保証時間 45 時間)

担当教員 : 田中美穂

授業の概要			
古代から現在まで日本の歴史の流れをつかみ, それぞれの時代について理解を深める. 近現代史を重視し, 日本の事柄だけに目を向けるのではなく, 世界における日本の位置づけ, および中国・韓国を中心とする近隣アジア諸国と日本との関係についても考える. また九州・沖縄地方が舞台となる歴史的事柄を重視する.			
達成目標			<b>大分高専目標 (A1)</b>
(1) 過去とのつながりを尊重しつつ, 現代を考える力を身につける. (定期試験)			
(2) 歴史を学ぶことで, 日本各地の地域性や日本社会の多様性について理解する. (定期試験)			
(3) 「世界の中の日本」「アジアの中の日本」の未来像を描き, 平和な世界の実現について考える. (定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	縄文文化と弥生文化	古代史の流れが理解できる. 律令国家体制について理解できる. 大陸文化の導入と貴族的な都市文化の 繁栄について理解できる.	【理解の度合い】
2	古墳文化と推古朝の政治		
3	飛鳥文化と律令国家の成立		
4	奈良時代の政治と天平文化		
5	平安初期の政治と文化		
6	国風文化と武士団の成長		
7	院政と平氏の台頭		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	中世史・近世史の流れが理解できる. 武士が支配する社会について理解できる. 日本文化の諸要素の形成について理解 できる.	【理解の度合い】
10	鎌倉幕府の成立		
11	元寇と鎌倉文化		
12	室町幕府の成立		
13	下剋上の社会と室町文化		
14	ヨーロッパ人の渡来と織豊政権		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16	経済と産業の発達	近代史の流れが理解できる. 中央集権的な政治体制の完成について 理解できる. 明治以降, 国際社会の中に組み込まれて いく日本の動きについて理解できる.	【理解の度合い】
17	元禄文化と幕藩体制の動揺		
18	化政文化と開国		
19	幕府の滅亡と明治維新		
20	文明開化と専制政府への批判		
21	立憲政治の形成と日清戦争		
22	日露戦争と第一次世界大戦		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	近現代史の流れが理解できる. 日本の帝国主義と植民地支配について 理解できる. 第二次世界大戦における日本の位置づ けについて理解できる. 現代の日本社会と日本が抱える諸問題 について理解できる.	【理解の度合い】
25	大正時代の社会運動と文化		
26	日中戦争		
27	太平洋戦争		
28	占領と国内改革		
29	高度経済成長 新しい国際秩序と日本の課題		
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	授業中にノートをきちんと取り, しっかり予習と復習をすること.		【総合達成度】
教科書	尾藤正英ほか著『新選日本史 B』東京書籍		
参考図書			
関連科目	世界史 (2 年)		
評価方法	計 4 回の試験の平均点によって評価する. 総合評価が 60 点以上を合格とする.		

## 教科目名 日本史 (History of Japan)

学科名・学年 : 機械工学科 1年 電気電子工学科 1年

単位数など : 必修 2単位 (前期 1コマ, 後期 1コマ, 学習保証時間 45 時間)

担当教員 : 上野淳也 (1M, 1E)

授業の概要			
古代から現代へ至る日本史の展開の中で各時代相互の連関を学び, 事実相互の関係を考える力を養い, 学んだ知識が平和で民主的な未来を築いていくための糧となるように授業を展開する.			
達成目標と評価方法			大分高専目標(A1)
(1) 歴史における事実相互の関係を考え, それぞれの時代像を構築することができる.(定期試験)			
(2) 平和で民主的な未来を築いていくための力を身に付ける.(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	原始社会の生活と文化 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 律令国家の形成 古代文化の展開 貴族政治 院政と平氏の台頭 鎌倉幕府と執権政治	原始社会や農耕社会について理解できる. 律令国家や古代文化について理解できる. 貴族政治について理解できる.	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 元寇と鎌倉文化 室町幕府と和寇 下克上の社会と戦国大名 ヨーロッパ文化との接触と国内統一 幕藩体制の成立 近世社会の発達	武家社会について理解できる. 中世史の展開について理解できる. 中世文化について理解できる. 近世社会について理解できる.	【理解の度合い】
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
16 17 18 19 20 21 22	元禄文化と幕藩体制の動揺 化政文化と幕藩体制の危機 開国と幕府の滅亡 富国強兵と殖産興業 立憲政治の形成 日清戦争と日露戦争 第一次世界大戦	近世文化について理解できる. 近代国家の形成と発展について理解できる. 戦争の原因や結果について理解できる.	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 中国侵略 日中戦争と太平洋戦争 占領と国内改革 国際社会への復帰と高度経済成長 石油危機と低成長の時代 新しい国際秩序と日本の課題	激動する世界と日本について理解できる. 戦後の改革について理解できる. 戦後の国際社会の中での日本の発展と課題について理解できる.	【理解の度合い】
30	後期期末試験 後期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	しっかり復習すること.		【総合達成度】
教科書	尾藤正英ほか著, 『新選日本史B』, 東京書籍.		
参考図書			
関連科目	世界史(2年)		
総合評価	定期試験により評価する. 評価が60点以上を合格とする.		【総合評価】 点